

# あばしり旅プランコンペ事業

## 施策のポイント

全国の観光系大学生を対象とした着地型観光メニューのコンペ事業の開催を通じて、新たな観光ニーズの発掘を図るとともに、着地型観光メニューの商品化、事業化を目指す取組みを実施する。

### 自治体情報

北海道網走市

人口 / 39,033人

標準財政規模 / 12,541,776千円

担当課 経済部観光課観光振興係

電話番号 代表 0152-44-6111 内線 243

実施主体 網走市

関連ホームページ

事業期間 平成 22 年度から

参考とした施策

関係施策分類 ②

## 施策の概要

### 1 取組に至る背景・目的

国内観光産業は、長期的な不況と金融危機などの影響を受け、危機的な状況に陥っている。当市も例外ではなく、観光客の入込減少に歯止めがかからない状況である。そのような状況を打破するためには、旅のトレンドを的確に把握すると同時に、新たな観光ニーズを発掘することが必要である。

当市では、これまで中高年の客層を中心に入込客の確保を行ってきたが、新しい観光トレンドを的確に把握し、将来の観光ニーズを創造するためには、若者をターゲットとした観光メニューづくりが重要と考え、若者が「行きたい旅」、「したい旅」を網走の自然、歴史、文化等の中から創造し、プランニングしてもらい、その企画内容の商品化、事業化を図ることを事業目的とした。

### 2 取り組みの具体的内容

全国の観光関係大学及び短期大学（約 130 校）の学生を対象とした「全国大学生旅プランコンペ」を網走を舞台に開催する。

2～3名1組で企画書提出による応募を行い、応募企画の中から実施可能かつ優れたものを5チーム程度選出し、チームのメンバーを網走へ招聘する。招聘されたチームは、実際に網走で実地調査を実施し、最終的な企画提案をまとめ、プレゼンテーション形式で報告発表を行う。

審査委員会（委員長：石森秀三（北海道大学観光学高等研究センター長）予定）にて、最優秀賞、優秀賞を選出し、賞及び賞金の贈呈を行う。企画提案のあった着地型観光メニューにおいて、実際に網走で取組み可能なものについては、将来的に商品化、事業化の検討を行う。

### 3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

事業実施を通じて、観光地「網走」を全国の学生にPRするとともに、企画内容の商品化、事業化を通じて、網走において着地型観光メニューの商品造成を通じて、滞在型、体験型、学習型観光の推進を図る。

目標としては、地元における着地型観光メニューの造成を行うこと。

4

今後の展開と課題

事業周知をホームページ、ポスター作成、ダイレクトメール、新聞報道等を通じて行う予定であるが、実際にどれくらいの応募や反響があるか課題である。

**事業目的**

**観光ニーズを的確に把握し、観光客の落ち込みを防ぐ！！**

観光客は長年(平年や世界的な急激な減客など)の影響によって低迷の一途を辿っている。なかでも、観光振興を牽引する観光事業者が、観光客の減少に悩んでいる。

観光客の観光客の減少は、平成25年度約137200人で、前年比で17.8%の(約197000人)の減少、前年比で約4.7%の減少である。これは観光客の減少率であり、観光客の減少率(観光客の減少率)を算出している。

観光客の減少率(観光客の減少率)を算出している。観光客の減少率(観光客の減少率)を算出している。

観光客の減少率(観光客の減少率)を算出している。観光客の減少率(観光客の減少率)を算出している。

**若者をターゲットとした観光ニーズの把握を通じて、新たな観光メニューづくりを行う！！**

近年、観光地では若者のニーズが顕著になり、観光客の減少に悩んでいる。観光客の減少に悩んでいる。観光客の減少に悩んでいる。

観光客の減少に悩んでいる。観光客の減少に悩んでいる。観光客の減少に悩んでいる。

**全国の観光系大学の学生を対象とした旅プランコンペの実施**

全国の観光系大学(学部、学科、コースを有する大学(約130校))の学生を対象に若地型観光プランの企画コンペを開催し、実現可能な旅プランを若地観光の新たなメニューとして商品化を検討する。

**【開催地】** 近畿大学(京都市)

**【参加資格】** 観光系大学(学部、学科、コースを有する大学)の学生(大学生)をターゲットとする。

**【参加方法】** 近畿大学のホームページから申し込みフォームをダウンロードし、各大学の担当者に配布した応募用紙に記入し、郵送で提出する。

**【審査方法】** 応募した作品の中から、審査委員が審査し、優秀な作品を選出する。

**【賞状】** 優秀賞、準優秀賞、参加賞を授与する。

**【賞状】** 優秀賞、準優秀賞、参加賞を授与する。

**募集内容**

若地型観光振興の為に、若地型観光メニューとして、実際に取組み可能なプラン、集客可能なプランを学生ならではの視点で企画し提案してもらいます。

若地型観光振興の為に、若地型観光メニューとして、実際に取組み可能なプラン、集客可能なプランを学生ならではの視点で企画し提案してもらいます。

若地型観光振興の為に、若地型観光メニューとして、実際に取組み可能なプラン、集客可能なプランを学生ならではの視点で企画し提案してもらいます。

**【募集内容】** 全国大学生旅プランコンペ 6ア

**【募集コンセプト(募集基準)】**

- ① 自分が行った、したい旅プランであること(購買性)
- ② 若地の地質資源が活用されていること(地域性)
- ③ プランの内容に付加価値が盛り込まれていること(独創性)
- ④ 着地型プランとして若地型観光振興に貢献すること(実現性)
- ⑤ 魅力的なプランであること(説得力)

上記コンセプトを満たしたプランをもって企画書の募集を行います。

**事業推進方法(案)**

- (1) 募集期間 平成22年5月20日(木)～平成22年7月23日(金)
- (2) 一次審査(書類選考) 応募チームを5チーム以上を募集し、応募書類から企画書を審査する。応募書類から企画書を審査する。応募書類から企画書を審査する。
- (3) 若地への招聘及び現地調査 平成22年9月4日(土)～9月11日(土)までの期間、若地型観光プランの企画書を審査し、優秀な作品を選出する。
- (4) プレゼンテーション 企画書が審査された企画書を平成22年9月4日(土)～9月11日(土)の期間、若地型観光プランの企画書を審査し、優秀な作品を選出する。
- (5) 賞の贈呈 プレゼンテーションに基づいて審査委員が審査し、優秀賞、準優秀賞、参加賞を授与する。
- (6) 審査委員選出と意見交換会 若地型観光振興の為に、若地型観光メニューとして、実際に取組み可能なプラン、集客可能なプランを学生ならではの視点で企画し提案してもらいます。

**事業スケジュール(案)**

- 4月 審査委員の内定 後援の取付 募集要項・告知ポスターの作成
- 5月 募集要項・告知ポスター作成(観光系大学・短期大学 約130校) 5月20日(木) 募集開始 ※全国2010～2014年度は集約したい
- 7月 23日(金) 結果発表 7月26日(月) 審査委員の選出(抽選) 7月31日(土) 審査委員の選出(抽選)
- 8月 2日(月) 優秀賞発表 9月4日(土) 意見交換会 9月11日(土) プレゼンテーション(若地型) 9月13日(日) 審査委員の内定 9月14日(月) 審査委員の内定

予算関連データ

総額	財源内訳(財源区分: ①～⑤)				
	①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
①～⑤の計 2,653千円	0千円	0千円	0千円	0千円	2,653千円
①～④の名称、所管など	名称				
	所管				
	金額				
	補助率				

提供可能資料：あばしり旅プランコンペ事業企画書